

## 公益社団法人日本天文学会 代議員総会議事録

日 時：2017年1月8日（日） 13:00-17:15

場 所：東北大学東京分室 会議室 A （千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー10F）

出席代議員：縣、太田、櫻井、杉山、土居、中川、牧島、嶺重、百瀬、吉田（直紀）、相川、青木、大向、岡村、海部、河合、柴田、戸谷、林（左絵子）（TV会議）、馬場、望月（以上 21名）

欠席代議員：犬塚、林（正彦）、松下、奥村、佐藤、寺澤、観山、山田、大朝、草野、小久保、須藤、田村、常田、渡部（以上 15名）

また、市川会長、半田副会長、山下・中村庶務理事、柴田・熊谷会計理事、松原監事、坪井研究奨励賞委員長、野上天体発見賞委員長、佐藤事務長、黒岩事務長補佐・田口谷事務員が出席した。望月副会長は代議員を兼任している。

### I. 確認事項など

議事に先立ち、出席者が 21 名、議長への委任状が 12 件、合計 33 件で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議 長：市川 隆

署名人：市川 隆

### II. 報告

#### II-1 理事会（2016年12月24日）報告（資料2、山下）

2017年度事業計画案・予算書を承認した。次期理事候補者の承認を行った。次期委員会委員の承認を行った。天文学用語集検討ワーキンググループを発足した。2019年春季年会会場を法政大学とすることを承認した。来年度年会会場費について議論した。

#### II-2 日本学術会議天文・宇宙物理分科会の報告（海部）

防衛省の研究費についての議論があった。精神を良く踏まえて、大学ごとに決めてもらう。大型計画のシンポジウムを行い、大型計画の提案を行ってきたが、最近分野ごとの議論にとどまっている。分野を超えた議論が必要ではないか？3月11日12日にシンポジウムを開く予定。会員・連携会員等の改選時期で、具体的人選中。候補があれば推薦頂きたい。

#### II-3 IAU 報告（資料3、岡村）

IAU 会員が第3位にもかかわらず、Vice-President などの候補、IAU シンポジウム開催数もさほど多くなく、IAU 中でのプレジデンスが高くない。それを踏まえ、IAU Vice-President 候補者の推薦を行った。CAP2018 の日本開催を決定した。IAU ジュニアメンバーの創設に関するアンケート調査があり、IAU 分科会でメール審議し返答した。

#### II-4 新常勤職員の紹介（市川）

新常勤職員の田口谷職員が紹介された。

#### II-5 天文教育普及賞ワーキンググループについて（半田）

天文教育普及賞の設置に関して、来期ワーキンググループにより、具体的な内容の検討を始めることとした。

#### II-6 推薦委員会について（櫻井）

3月の年会時の代議員総会時に、具体案を決めたい。現在、推薦委員会が代議員候補者の推薦を光天連・宇電懇・太陽・高宇連・理論懇に依頼しているが、この5団体だけで良いのか？男女共同参画委員会にも意見を聞いて欲しい、などの意見

が出た。推薦委員会委員候補者は現委員長に案を作成してもらい、次回議論することとする。

### III. 議題

#### III-1 2017年度事業計画の承認（資料5、山下）

ほぼ例年通りの事業計画であるという説明がなされ、文書の体裁の修正を行い、全会一致で承認された。

#### III-2 2017年度予算計画の承認（資料6、柴田）

PASJの予算が黒字になった、法人会計・年会事業で赤字が目立ち、全体として赤字予算となっている。正会員会費値下げによる収入減、費用は常勤職員の採用・昇給等による費用増、年会会場費が600万円ほど増加したことが赤字の主な原因である。公益目的事業助成は例年なみ、今後も寄付を集める努力が必要である。短期経費は、学会ホームページ作成費、新委員会の費用等により赤字が増加、2015年度決算時の遊休財産額6196万円が公益認定の上限に近づいてきている、年会会場費については年会実行委員会で削減案を検討している等の説明があった。「5年ほどの収支に関するグラフを示してもらいたい、立候補にあたっての年会会場費の見積もりのためのひな形を作ってもらいたい」等の要望・質問が出た後、全会一致で承認された。

#### III-3 次期理事の承認（資料7、山下）

資料に基づき、来期の理事が紹介され、個別に可否を採った結果、候補者全員が全会一致で承認された。

#### III-4 次期監事の承認（資料8、松原）

次期監事リストが紹介され、全会一致で承認された。

#### III-5 次期選挙管理委員の承認（資料9、山下）

理事会指名による次期選挙管理委員会候補者が全会一致で承認された。

#### III-6 「会長・副会長・理事・監事選考細則」の改正（案）の承認（資料10、市川）

あいまいな表現を誤解のないような表現に変えた案が提案され、全会一致で承認された。また、推薦された候補者が1名の場合も、所信表明もしくは推薦文を学会誌に掲載することが必要との意見があり、細則には記載しないがそのように運用することとした。

#### III-7 「代議員選挙施行細則」の改正（案）の承認（資料11、市川）

選挙管理委員会に欠員が生じた場合に、案では、理事会・代議員総会を経ないで委員が決まる場合があるとも解釈できるので、その部分を改良した案を次回提案することとし、決議を見送った。

#### III-9 2016年度各賞受賞者の決定

##### 林忠四郎賞（資料13、櫻井）

林忠四郎賞の受賞候補者として住貴宏氏が推薦され、その業績について説明されたのち、授賞理由の文言の修正をし、全会一致で承認された。

##### 欧文研究報告論文賞（資料13、櫻井）

Yabe et al. (2012), Machida et al. (2011)の2件が推薦され、論文内容について説明されたのち、全会一致で承認された。

##### 研究奨励賞（資料14、坪井）

滝脇知也氏と秦和弘氏の2名を研究奨励賞の候補が推薦され、推薦理由について説明されたのち、全会一致で承認された。

##### 天体発見賞/天体発見功労賞、天文功労賞（資料15、野上）

天体発見賞・天体発見功労賞・天文功労賞（長期および短期）候補について推薦理由が説明されたのち、全会一致で承認された。

[資料リスト]

- 資料 1 代議員総会出欠表
- 資料 2 前回(2016年9月15日)代議員総会議事録確認
- 資料 3 IAU 報告
- 資料 4 日本天文学会・各委員会委員リスト
- 資料 5 2017年度事業計画書(案)
- 資料 6 2017年度予算計画書(案)
- 資料 7 日本天文学会理事候補リスト
- 資料 8 日本天文学会監事候補リスト
- 資料 9 選挙管理委員の指名について
- 資料 10 「会長・副会長・理事・監事選考細則」の改正(案)
- 資料 11 「代議員選挙施行細則」の改正(案)
- 資料 12 「日本天文学会委員会等に関する細則」第3条改正案
- 資料 13 2016年度林忠四郎賞および欧文研究報告論文賞選考経過報告
- 資料 14 2016年度日本天文学会研究奨励賞候補者推薦理由書
- 資料 15 2016年度日本天文学会天体発見賞・天体発見功労賞・天文功労賞候補者推薦書

2017年1月8日

議長・署名人：市川 隆 印